

令和5年10月26日  
航空局交通管制企画課

## さらなる飛躍へ！ アジア太平洋地域における TBO プロジェクトが拡大！

10月23日(月)に、ICAO の主催によりシンガポールで開催されている“Air Navigation World 2023- ATM Procedures for Today”において、アジア太平洋(APAC)地域の TBO プロジェクト<sup>※1</sup>に参画する8か国で署名式が行われ、本プロジェクトの実現に向けて合意がなされました。

※1 概要については別添参照

### <経緯及び目的>

本年6月に、日本、米国、シンガポール、タイの航空当局が共同して、世界初となる実際の旅客機を用いた次世代航空交通システムに関する試験飛行が行われました<sup>※2</sup>。今般、APAC 地域における TBO の運用上の有用性をより具体的に検証するため、新たに中国、ニュージーランド、フィリピン、インドネシアを仲間に加え、今後4年以内に参加国共同で実機による実証を行うことについて、合意がなされました。

※2 プレスリリース(令和5年5月17日付)「世界初!! 4カ国を跨ぎ、実際の旅客機を用いた試験飛行を実施します。」

[https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku13\\_hh\\_000135.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/kouku13_hh_000135.html)

### <参加国>

日本、米国、シンガポール、タイ、中国、ニュージーランド、フィリピン、インドネシア  
日本側出席者：吉田 昭二 国土交通省航空局交通管制部長 他

### <今後のスケジュール>

- 1年目：飛行シナリオの定義、全体計画の策定等
- 2年目：試験飛行に必要な技術の構築
- 3年目：模擬/研究環境における実証
- 4年目：実機による実証



署名式の様子



TBO の紹介動画(YouTube)

[https://youtu.be/EuyFjV\\_i9CU?si=2hStJykYJk-DwdKZ](https://youtu.be/EuyFjV_i9CU?si=2hStJykYJk-DwdKZ)

### <お問い合わせ先>

航空局交通管制部

交通管制企画課 今田、松崎

代表:03-5253-8111(内線 51126・51104)

直通:03-5253-8739

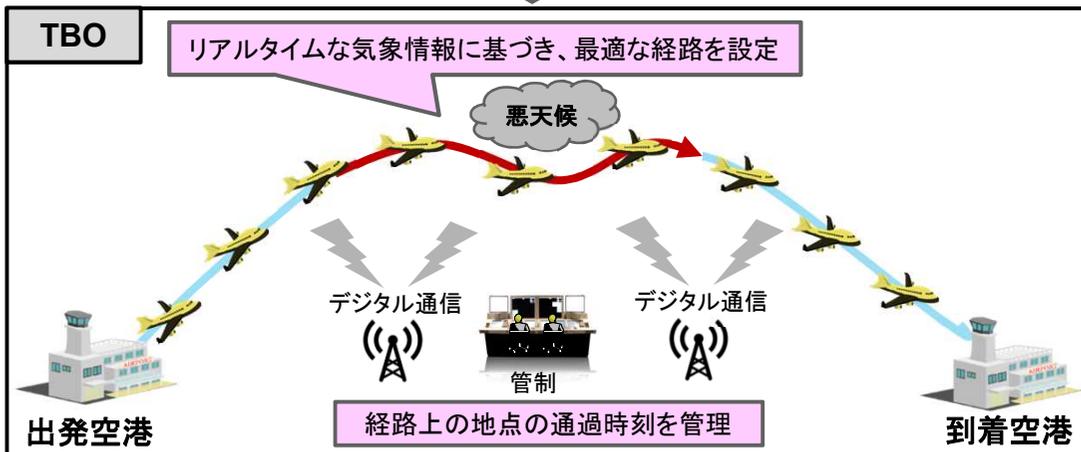
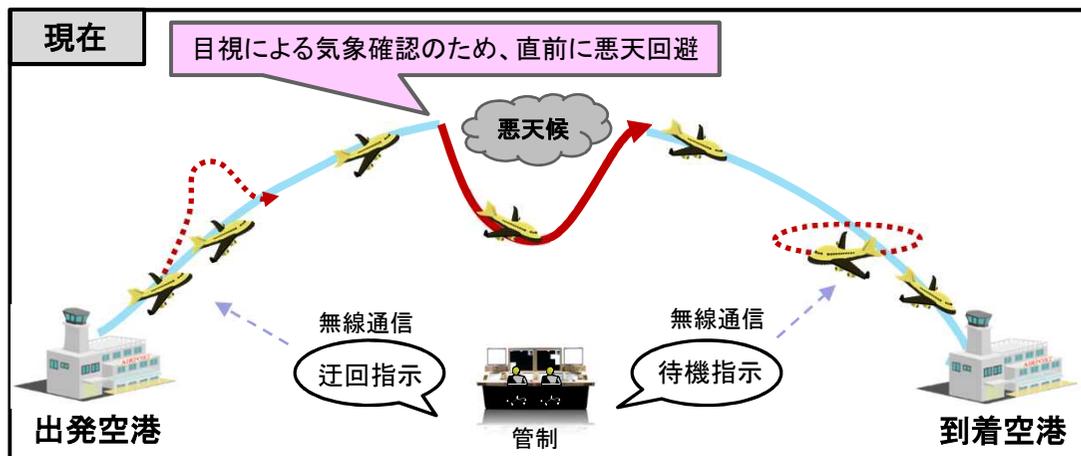
Email: imada-y037c@mlit.go.jp、matsuzaki-f2sf@mlit.go.jp

# アジア太平洋(APAC)地域におけるTBOプロジェクト(概要)

TBO※とは、国際民間航空機関（ICAO）で構想されている、航空機の時間ごとの位置情報や気象情報等を常に関係者間で共有・調整しながら行う運航の手法です。アジア太平洋（APAC）地域におけるTBOプロジェクトでは、将来的なTBOの実現を目指して、今後4年以内に参加国共同で実機による実証を行い、TBOの具体的な有用性を検証する予定です。我が国においても、TBOを段階的に導入していくことで、航空機の効率的な運航や管制処理容量の拡大につなげていきます。

※ TBO (Trajectory Based Operations)

## ■ TBOによる運用イメージ



## ■ TBOにより実現できること

- ① より安全で快適な飛行
- ② 急な気象変化（積乱雲や火山噴火など）へスムーズに対応
- ③ 消費燃料の削減によるカーボンニュートラルへの貢献

## ■ TBOプロジェクト参加国及び各国の空域



- 2023年6月実施の試験飛行から引き続き参加  
⇒ 日本、米国、シンガポール、タイ
- 今回のプロジェクトから参加  
⇒ 中国、ニュージーランド、フィリピン、インドネシア